

参議院
神奈川

1980年横浜市で生まれ、育ち、現在子育て中。(旧姓・金谷)。
森村学園高等部、筑波大学国際総合学類卒。
民間企業にシステムエンジニアとして勤務後、
国際輸送業に関わる。
世界から貧困と紛争をなくしたいという思いで
数々のボランティアに携わり、日本共産党に入党。
夫と中1、小4、3歳の5人家族。

あさか 由香

命に向きあった20代

2001年、ニューヨーク州立大学留学中に、誕生日祝いに来てくれた母、兄、妹を自動車事故で亡くす。同年9月11日同時多発テロが起き、アフガニスタン・イラク戦争に。
命を大切にする社会にしたいと平和運動に参加しました。

2016年~ 「8時間働けばふつうに暮らせる社会へ」を掲げて

帰国してSE(システムエンジニア)に。心や身体を壊してやめていく同僚の姿に長時間労働の残酷さを実感しました。子育てをする中で「子育ては楽しいはずなのにワンオペ育児で苦しい」と悩むママたちにたくさん出会い、この状況を変えたいと政治を志しました。
生活できる賃金が保障され安定して働ける。老後は働かなくても安心して暮らせる。働くことができない場合も含めて、すべての人が安心して暮らせる社会を目指し、2016年参院選から「8時間働けばふつうに暮らせる社会へ」を提案。

2022年 立候補表明と同時に産休・育休宣言

2022年参院選は立候補表明と同時に産休・育休宣言。「既存の政治やそこで求められる政治家像に、生活を犠牲にしながら治うのではなく、生活に政治を近づけることを社会に問う」挑戦を行い、一石を投じました。私が提案してきた政策を他の政党も掲げるようになってきました。必ず実現させ、一歩先に進めると再び挑戦を決意しました。

参議院
投票方法
制度解説



1回目

選挙区は
「候補者名」



2回目

比例代表は
「政党名」
個人名でも投票できます。

日本経済を立て直す！

賃上げ・社会保障の充実で

99%の国民生活を上げる

「高齢者優先か、若者優先か」ではない

「自分で何とかしろ」の政治はもう限界

必要なのは、賃金と社会保障を上げる政策と、その財源確保のために大企業と超富裕層の優遇をやめ応分の負担を求める政治の覚悟です。

賃金上げる 政治の力で!

賃金を上げるためには国の企業への支援が必要です。99.7%を占める中小企業への直接支援がカギです。

年金上げる

年金は地域の所得と消費を支える柱です。物価に応じて「増える年金」に。最低保障年金制度を作って年金の底上げ実現します。

学費ゼロへ 既卒者の奨学金返済を減免へ

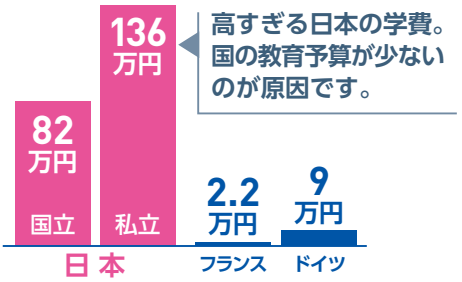
学びは将来、社会全体に還元されるものです。教育予算を増やします。

学費ゼロへ いますぐ半額	入学金ゼロ
給付中心の奨学金	奨学金返済の半額カット



※大企業減税・優遇税制の拡大以降の積み増し分

大学の初年度納付金の国際比較



出典：文部科学省「諸外国の教育統計 2023」より作成

確かな財源提案	大企業・超富裕層に 応分の負担	所得1億円超の富裕層への優遇をやめ、応分の負担を。 大企業優遇税制により中小企業よりも大企業の税負担率が低い実態を改めます。	消費税は減税	日々の生活を圧迫する消費税を主要な財源とすることは景気の停滞をもたらします。むしろ減税が必要です。

日本共産党だからできる

「先陣を切る政策！」

裏金問題を追及し、自民・公明を過半数割れに。
企業・団体献金の禁止、賃上げ、学費無償化など、共産党が先陣を切って政策立案。衆院選では与野党を超えて公約に掲げられました。共産党は実現させるまで諦めません。

「財源確保に切り込める！」

大企業や超富裕層への優遇をやめ応分の負担を求めることができるのは、企業・団体献金を一切受け取っていない共産党だからです。

「憲法9条を基軸とした安全保障政策」

平和外交戦略をもつ共産党です。
日本を含む東アジアの平和戦略を提唱しています。

